

麒麟のC S V・社会福祉向上の活動

～麒麟のC S Vと財団の活動を通して障害者権利条約について皆さまと更に理解を深める機会として～

2019年12月5日

公益社団法人麒麟福祉財団
常務理事・事務局長 太田 健

機密性区分 D:一般	開示範囲 ご出席者限り
保存期限 2020年12月31日	複製可否 ご出席者限り



公益財団法人麒麟福祉財団 概要



■麒麟福祉財団(以下ザイダン)は、麒麟麦酒設立75周年(昭和57年2月)及び国際障害者年(昭和56年)を記念して、昭和56年(1981年)7月21日に設立。

【設立の趣意】

「当社の成長の土壌となった社会に感謝の一端を表し、社会との連帯調和の経営方針をより明確な形で具現するために財団を設立。」

【概要】

資産総額：50億円 出捐者：麒麟ホールディングス株式会社
目的：障害児・者福祉、高齢者福祉、児童・青少年福祉、地域社会福祉向上等に関する諸活動に対して助成等を通じて、わが国の社会福祉の発展に寄与することを目的としています。
体制：評議員会9名 理事会9名 事務局:三宅理事長と4名の事務局(常勤者)で運営



元麒麟ビール社マーケティング部勤務のしりあがり寿先生作ザイダン君です
(麒麟福祉財団30周年マスコットキャラクター)

【活動の特色】

ザイダンの30周年記念誌「ともに歩んだザイダン君の30年」より

ダメ出しの少ない財団：チェックポイントは緊急性と先駆的・開拓的か？一番困っている人を探し法人格が無くとも新しいやり方や困難に道に踏み出す団体を応援して来ました。

制度の谷間に目配り：制度の谷間にも目配りをし、政府が補助できない団体も応援して来ました。例えば、キミの隣にザイダン君がいる：専門のプログラムオフィサーを置かず、麒麟で働いている普通の社員が財団に来るので、「福祉の素人集団」です。それなので①現場に行き、②助成先から学び、③いつのまにか団体に寄り添いおしゃべりしたり、喜んだり、悩んだり、と言う寄り添った活動をしています。

見張るのではなく支援します：助成金が適正に使われるよう見張るのではなく、助成先とヒザを詰めて話しをし支援します。



© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

麒麟グループ 沿革



- 1870年 明治3年、後に麒麟ビールに引き継がれることとなるビール醸造所スプリングバレー・ブルワリーが、横浜の山手にルウェー生まれのアメリカ人ウィリアム・コーブランドによって開設される
- 1877年 メルシャンの前身となる日本最古の民間ワイン会社である大日本山梨葡萄酒会社が山梨県の勝沼で設立
- 1885年 明治18年事業を引き継いだジャパン・ブルワリーが横浜に設立(麒麟麦酒の前身)。のちに同社重役となるトーマス・グラバーの尽力で、岩崎彌之助(三菱社社長)をはじめ9人の日本人が株主となる
- 1888年 明治21年ドイツ風ラガービールを「麒麟ビール」として発売
- 1907年 明治40年ジャパン・ブルワリーの経営を引き継ぎ、麒麟麦酒株式会社が創立
- 1828年 麒麟麦酒の横浜工場内に清涼飲料工場完成、炭酸飲料「麒麟レモン」発売
- 1949年 商標「麒麟ビール」を復活して販売開始
(※戦時統制下、ビール銘柄商標廃止となり、ラベルは「麦酒」に統一されていた)
- 1963年 自動販売サービス株式会社(現麒麟パレヅ株式会社)設立
- 1981年 昭和56年麒麟麦酒株式会社設立75周年及び国際障害者年を記念して財団法人麒麟記念財団が設立 2010年公益財団法人となる
- 2006年 メルシャン株式会社と業務提携
- 2007年 「麒麟ホールディングス株式会社」に商号変更し、純粋持株会社制に移行
- 2013年 国内総合飲料事業会社 麒麟株式会社設立 CSVを経営コンセプトの中心に据える



日本のビールの歴史は大変面白いので興味がある方は、麒麟のホームページ⇒インタレシト ⇒麒麟歴史ミュージアム をご参照下さい



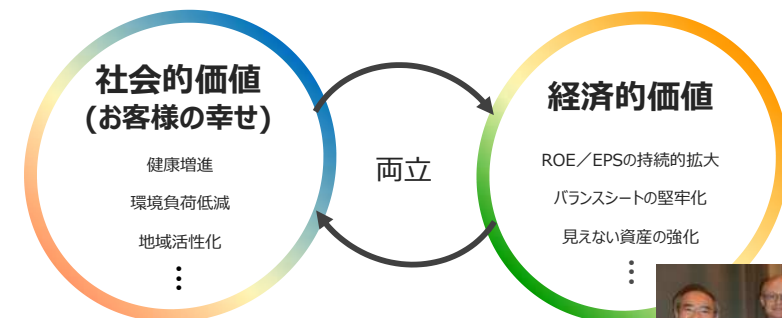
© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

CSV



■社会的価値と経済的価値の両立による共通価値の創造
強みを活かして社会課題に取り組むことが、発想の転換や創意工夫を促し、さらなるイノベーションを生み出す



CSV : Creating Shared Value

社会的価値と経済的価値の両立による共通価値の創造

米国ハーバード大学経営大学院 マイケル・ポーター教授(写真左)が2011年に提唱した経営コンセプト



© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

キリン 一番搾り

■ 地元の誇りを、おいしさに変えて

2016年～2018年の取り組み 東京に乾杯・北海道づくり など

*道産米と環境省の名水100選「阿倍川湧水」を源流にもつ内別川の水を使用 北海道守備定場限定醸造 千歳工場は内別川の水質を守る活動を永年に渡り実施



KIRIN
地元うまれの 一番搾り

「47都道府県」一番搾り



全国9工場の醸造長および全国の支社長が、地域の食・文化・情報などに精通されているお客様と一緒に商品コンセプトやその楽しみ方などの共創活動を行い、47都道府県のお客様の要望に応じていきます。

持続可能な調達とカテゴリーの育成

■ 地域社会や環境への貢献のみならず、成長戦略や競争力の強化に繋がる



	国産ホップ栽培の持続	日本ワインの育成	レインフォレスト認証取得支援
地域	遠野、横手他	上田、塩尻、勝沼他	スリランカ
活動	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者のリクルート ホップの外販 クラフトビールの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ヴィンヤードの拡張 ワイナリーの新設 	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全、品質・生産性改善、労働環境向上の指導 教育支援（図書寄贈）
社会的課題	<ul style="list-style-type: none"> 農業と地域の衰退 コミュニティの喪失 	<ul style="list-style-type: none"> 農業と地域の衰退 コミュニティの喪失 	<ul style="list-style-type: none"> 森林破壊 低い生活環境
経済的価値	<ul style="list-style-type: none"> 安定調達 クラフトカテゴリー拡大によるゲームチェンジ 	<ul style="list-style-type: none"> 販売単価アップ ブランドエクスペリエンスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 安定調達 ブランド差異化のオプション

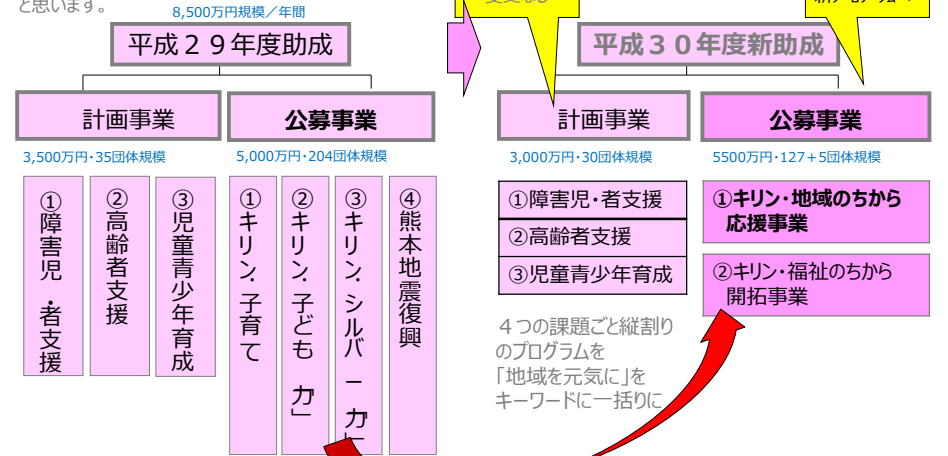
財団の事業

- 障害児・者福祉分野
 - 身体障害、知的障害、精神障害、および難病等、障害の種別を超えて、障害のある人も・障害のない人も、共に生活していける活動、障害者の就労支援活動、障害者の権利法制整備に取り組む活動等を支援しております。
- 高齢者福祉分野
 - 様々な形態の介護当事者の心身のケアを目的に組織化を目指す活動や、新たな介護課題への提言や啓発を行う活動等を支援しております。
- 児童・青少年福祉分野
 - 児童・青少年の健全育成および児童福祉向上に関わる、子供の虐待防止、非行・虐待からの立直りに取り組む活動等を支援しております。
- 地域社会福祉分野
 - 地域におけるネットワークの形成等地域社会福祉の向上に寄与する活動への支援を行っています。
- 公募事業
 - 地域やコミュニティを元気にするさまざまなボランティア活動や、長期的な視点で全国や広域の社会的な課題の解決に取り組む活動へ、公募による応援を行っています。
 - 1. キリン・地域のちから応援事業
 - 同じ地域やコミュニティで生活する一員として、共に理解し・支え合う共生社会の実現を願い、地域における福祉向上に関わる、幅広いボランティア活動を実施する団体を応援します。
 - 2. キリン・福祉のちから開拓事業
 - 障害者、高齢者、児童・青少年、地域社会で長期的な視点に立つて全国や広域で福祉の課題を解決しようと考えているボランティア団体を応援します。

キリンのCSV（カーソル）パスの「地域社会・コミュニティ」と同義
 〒164-0001 東京都千代田区千代田10番2号
 FAX: 03-5343-1093
 @kirin.co.jp
 http://www.kirinholdings.co.jp/foundation/

平成30年度からの公募を新プログラムへ

これまで社会課題ごとに縦割りであった公募のプログラムを「地域を元気に」のキーワードで新プログラムとして一括りのものに刷新しました。これにより、キリンは事業ではCSVとして「飲みもの」で、事業がリーチできない「福祉」ではダイナミックに「地域を元気に」したい、と言う役割分担を整理することによって、ステークホルダーにより理解と共感を頂ける様になりたいと思います。



計画事業

【計画事業】

ザイダンが解決したい事業領域において、全国規模・中長期的視点で活動してくれるパートナーを探しだし、協働により社会課題の解決を目指す事業。現在 30 団体（本年度中に 1 団体追加）を応援。

障害者・障害児 11 団体

NO	助成先	事業名称	対象
1	全国自立生活センター協議会	障害の種別、多様性を超えた自立生活拡大に向けた取り組み	障害者全般
2	ピープルファーストジャパン	ジャパン本部事業、ピープルファースト大会事業	知的障害
3	(特定非営利活動法人) セルフサポートセンター浦河	ホームレス支援 + 当事者研究の普及啓発 + ピア SST	精神障害
4	(公益財団法人) 現代人形劇センター	ろう学校での表現体験ワークショップ	聴覚障害
5	障害のある子どもの放課後保障全国連絡会	障害児放課後活動の制度改善推進事業	障害児全般
6	(特定非営利活動法人) ジョブコーチ・ネットワーク	ジョブコーチによる地域就労支援の活性化、及び全国ネットワークの構築事業	知的障害 精神障害
7	難病の制度と支援の谷間を考える会（タニマーの会）	難病カフェコミュニティの形成・ネットワーク化プロジェクト	難病
8	日本障害フォーラム（JDF）	パレルレポート作成 助成財団センター主導による損保ジャパン®福祉財団、ヤマト福祉財団、住友財団との共同助成	障害者全般
9	(特定非営利活動法人) DPI 日本会議	インクルーシブまると実現プロジェクト	障害者全般
10	TUMUGU"BITO" Project	発達障害のある人のキャリアアップ創出プロジェクト	発達障害
11	(公益社団法人) ヤンプル	企業における依存症予防啓発事業	依存症



© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

8

計画事業：障害児・者支援事業

キリンが皆さんと共に実現したい社会

障害があってもなくても、高齢者でも子どもでも、日本人でも外国人でも、同じ地域やコミュニティで生活する一員として、共に理解し合い・支え合う共生社会の実現です。



© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

9

計画事業：障害児・者支援事業

No. 8 JDF日本障害フォーラム

助成財団センター：田中皓専務理事の首領で、住友財団・損保ジャパン日本興亜福祉財団・ヤマト福祉財団（敬称略・順不同）と共に、キリンは平成 16 年度より共同助成により、障害者権利条約の批准・啓発・パレルレポートの作成等を応援。
⇒本フォーラムをはじめ、パレルレポートの為の準備段階から活動を応援しています。



写真は前年の秋葉原コンベンションセンター全国フォーラムの様様

2018年8月4日
富山県総合福祉会館での地域フォーラムの様様



© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

10

計画事業：障害児・者支援事業

No. 9 DPI 日本会議

DPI日本会議との協働は平成 20 年から。DPIの活動への応援のほか、キリン本社に本社へ直接レクチャー頂き助けてもらっています。



⇒平成 28 年 4 月の障害者差別解消法施行を前に、キリン中野本社ビルにて関係する 12 の事業会社（BtoCに関連する事業）50 名の企画・総務担当者向けに、DPI副議長：尾上 浩二さん 崔 榮紫さんより不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供について解説頂く。
助成先の団体から当事者の立場で、内閣府障害者制度改革担当室・政策企画調査官として法の整備に携わられた尾上さんから直接企業の担当者にレストランやスーパー・マーケットにおける合理的配慮等について解説頂いたことにより、理解が進みお客様への情報提供にも役立った。

車椅子の人でも入り易いお店への動線やレイアウト、盲導犬入店可のサインについても詳しく説明頂きました。
⇒これらは、高齢者やみんなに優しい売り場づくりにつながるものです。
ちなみに全国 4 2 店舗に展開しているキリンシティは全店「盲導犬同伴可」のステッカーを掲げお客様をお待ちしています。



© Kirin Company, Limited

【機密性区分】D一般 出席者に限り開示・複製不可

11

計画事業：障害児・者支援事業

No. 9 DPI日本会議

インクルーシブまると実現プロジェクト 成果報告集会

平成30年3月27日 衆議院会館講堂にて開催 70名参加（国会議員含む）

⇒午前の部：ソーシャルインクルージョンの視点に基づく障害者文化芸術報告会（バリアフリー映画の解説と体験、及び10月8日三重県人権センター・1月20日清水テルサ上映会の報告）

⇒午後の部：インクルーシブな子ども時代づくりプロジェクト報告（中学校普通学級での合理的配慮～名古屋市中の実例と課題～、インクルーシブな放課後づくりのしくみ）



助成の背景：
2018年6月施行
「障害者による文化芸術活動
推進に関する法律」の推進



バリアフリー映画上映会の模様
三重の上映では160名が鑑賞

静岡でも100名がバリアフリー
の映画を楽しんだ

もう少し詳しくCSV等をお知りになりたい方のために



ほか「CSV キリン 太田健」で検索されますと4ページ程度太田が取材を受けた記事・登壇記録等がヒットします、ご参照下さい。

また一般社団法人 CSV開発機構のホームページでも各種の事例が参照可能です。

キリン福祉財団の活動については、当財団のホームページか、公益財団法人助成財団センターのホームページよりオピニオン誌VIEWS No.9 1に「深堀りセミナー」の内容が特集されていますのでご覧ください。